

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月22日(木)

事務事業		ふっかちゃん子ども福祉事業		担当課	障害福祉課	担当係	支援第二係	管理番号	26155	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市ふっかちゃん難聴児補聴器購入等に伴う自己負担金助成事業実施要綱				
	小項目	3	障害者福祉の推進			深谷市ふっかちゃん障害児療育経費助成実施要項				
	主要プロジェクト					深谷市ふっかちゃん障害児スポーツ助成金交付要綱				
事業概要		ふっかちゃん子ども福祉基金を活用し、子どもたちの健やかな成長に資するための事業を実施するものである。								
目的 ※何のために		言語の習得、教育等における健全な発達の支援。障害の軽減や基本的な生活能力の向上。障害者に対する市民の理解の促進。								
対象 ※誰・何を対象に		身体障害者手帳の交付の対象とならない軽度・中等度の難聴児。専門性の高い療育事業に参加した障害児。スポーツ競技を行う障害児。								
手段 ※どのように		助成対象児童が新たに補聴器を購入する経費又は耐用年数経過後に補聴器を更新する経費の補助。対象の療育事業への参加費用の2分の1の補助。スポーツ競技を行うために必要な補装具等の購入等の費用の補助。								
成果 ※何を求めるか		補聴器等の購入又は療育事業に参加した場合にかかる経費の一部を補助することにより、保護者等の経済的負担の軽減を図る。また、障害児の社会参加促進と障害者スポーツの振興を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	ふっかちゃん子ども福祉事業	260,985
本事業の 主な業務		・ 深谷市ふっかちゃん補聴器等購入等に伴う自己負担金助成事業								・
		・ 深谷市ふっかちゃん障害児療育経費助成事業								・
		・ 深谷市ふっかちゃん障害児スポーツ助成金交付								・
		・								・
		・								・
		・								・

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		補聴器等購入等自己負担金助成、障害児療育経費助成、障害児スポーツ助成金交付	補聴器等購入等自己負担金助成、障害児療育経費助成、障害児スポーツ助成金交付	補聴器等購入等自己負担金助成、障害児療育経費助成、障害児スポーツ助成金交付	補聴器等購入等自己負担金助成、障害児療育経費助成、障害児スポーツ助成金交付		
事業費	予算(現額)	327,000	990,000	1,490,000	1,403,000		
	決算額	121,676	260,985	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	121,676	260,985	1,490,000	1,403,000	
	一般財源	0	0	0	0		
人件費	従事職員数(人)	0.43	0.05	0.11	0.11		
	人件費相当試算※	3,337,623	393,478	901,603	901,603		
総事業費試算		3,459,299	654,463	2,391,603	2,304,603		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	申請件数	目標値	件						
		実績値		16.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		本人等からの申請によるため目標は設定できない。 / 申請書枚数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	支給件数	目標値	件						
		実績値		22.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		本人等からの申請により支給するため目標は設定できない。 / 支給実績件数						
	実績値の算出式								
成果指標 2	支給総額	目標値	千円						
		実績値		261.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		本人等からの申請によるため目標は設定できない。 / 支給実績総額						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	令和4年度は身体障害者手帳、療育手帳を所持する18歳未満のかたへチラシを郵送し、事業の周知を図った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	前年度と比べ、申請件数及び支給総額は増加している。
			評価者 支援第二係長 小林 尚代

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	申請に基づいた各事業の助成を適切に行うことで、障害児が社会参加するための支援、また、保護者の経済的負担の軽減を行うことができた。
			評価者 支援第二係長 小林 尚代

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	ふっかちゃん子ども福祉事業	担当課	障害福祉課	担当係	支援第二係	管理番号	26155
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		ふっかちゃん子ども福祉基金を活用し補助を行っていくことにより、障害の軽減や保護者等の経済的支援を継続していく。 個別通知により、申請数は増えてはいるが実績は少ないため、広く活用してもらえるよう見直しを図る。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 障害福祉課長 浅田 朱美					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	より魅力的な制度となるよう以下について改善を図る。 ①事業を広く活用していただけるよう対象要件を見直し、対象者を拡大する。 ②障害児スポーツ助成金交付については助成額を増額し、経済的支援の強化を図る。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

